

バーベキュー会に参加して

中部地区の行事として去る 9 月 16 日（土）に藤枝の朝日山城跡の麓にある「もうもう BBQ」という所でバーベキュー会を行いました。

していましたが、当日はやはり朝から雨でした。午前 10 時焼津駅に集合し、タクシーに分乗して会場へと向かいました。

藤枝の清里という地域を過ぎると、まもなく緑の木々に囲まれた会場に到着しました。その頃にも雨は降っていましたが、屋根のある施設でほっとしました。そして先に来ていた小林事務局長の会社関係の若い人たちがすでに準備をして待っていてくれました。

みんながテーブルにつき、武長会長の挨拶で会が始まりました。

若い人たちが準備して下さった盛りだくさんの野菜やおいしそうなお肉を私たちはただ焼くだけで良いのですから楽なものです。さっそくみんなで網の上へのせジュージュー焼きはじめ、焼きあがったものを次々にパクパクと……。外は雨の音ですが、このような山あいの場所で頂くのは最高で、格別に美味しく感じられます。飲んだり食べたり笑ったりで、皆さんの顔は笑顔にあふれていました。

美味しい食事を頂きながら、それぞれのふる里の話や世間話などで談笑し、又、会社関係の若い皆さんとは 1 年ぶりの再会で話もはずみ、参加者の皆さん全員が和気あいあいとした雰囲気です。



とても素晴らしいバーベキュー会となりました。

バーベキュー会は昨年に引き続き 2 回目で私たち県人会と小林さんの会社関係の人たちとの合同ですが、今年は更に新潟県人会と鹿児島県人会の方々も数名参加して下さい、子供さんも含め総勢 38 名のとても賑やかなバーベキュー会となりました。

楽しい語りも尽きませんでした。終りの時間も近づき、みんなで記念写真を撮ってお開きとなりました。若い人たちとは、来年も又会いましょう……。よろしくネ。と別れのあいさつを。

雨には降られましたが台風の影響もなく、無事に終わることが出来ました。

小林さんの会社関係の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

福井発の新ブランド米「いちほまれ」試験販売スタート

コシヒカリを生んだ福井県が、その技術の粋を込め、6年をかけて開発した「いちほまれ」。9月23日、首都圏と福井県内で試験販売が始まりました。

東京では、日本橋三越本店を会場として、福井県から西川知事と、県農協中央会の宮田副会長がトップセールスを実施して、いちほまれの特長や美味しい炊き方を紹介する「いちほまれコンシェルジュ員」と一諸に試食用のごはんをふるまい、首都圏の消費者に購入を呼びかけました。また、別会場の六本木ヒルズでは、「いちほまれ誕生祭」と銘打ったイベントを開催。いちほまれのブランド化戦略会議の委員長を務められた料理で著名な服部先生のほか、福井にゆかりのある著名人など、約5,000人の来場者と共に販売開始をお祝いしました。

一方、福井県内では、県内のスーパーや量販店にも、いちほまれの特設コーナーが登場。試食コーナーには大勢の人が集まり、販売開始2時間で完売するほどの人気でした。実際に口にした方から、「初めて体験する美味しさ」「粒が立っている」などの声が聞かれた。価格面でも、全国トップクラスのお米としての評価を獲得。日本橋三越本店では、粒の大きさを揃えた限定版いちほまれ「吟選粒揃え」が、全国のブランド米を上回る高値で販売されました。

品質、価格ともに高い評価を得た、いちほまれ。「日本一美味しい誉れ高きお米」としての一步を踏み出しました。

西川知事からのコラムとして、

「いちほまれ」が首都圏と県内で試験販売され、多くの方に「ダントツの美味しさ」を味わっていただきました。県内の子供達にもその美味しさを伝える為、県内すべての小中学校給食でいちほまれを提供します。

来年度の本格販売に向けて、「おいしいお米の決定版」であるいちほまれの魅力を全国にPRし、日本一のブランド米としての地位獲得を目指します。— 以上でありました。 —

故郷福井は古来から「御食国」として、歴史的に重要な役割を果たしてきました。今も昔も、豊穡な森が生み出す水、美しい自然が育む豊富な海の幸、山の幸に恵まれた食の大変豊かな故郷福井であります。6年もの年月をかけて開発された「いちほまれ」が今後益々ブランド力を高め、国の内外へ売り込み、文字通り「日本一美味しいお米」としての誇りをもって私たちも応援したいものです。

来年1月21日に開催の新年会に、お土産として準備しておりますのでご賞味下さい。

— 県政広報 ふくい (10月発行を参照する) — 以上

名水のまち、越前大野市が、水への感謝を世界へ・・・

大野市は、県全体面積の凡そ5分の1の広さで、その9割を森林が占める。日本百名山の「荒島岳」をはじめ、四方をぐるりと山々に囲まれた大野の地形は、自然の循環装置のようになっている。山に降った雨や雪どけ水がじっくりろ過され、適度なミネラル分を含んだ湧き水となって、市内の至るところに湧き出ている。「御清水（おしょうず）」とよばれ、名水百選にも選ばれ全国的に知られている。大野では今も地下水を使う家庭が多く、日々この恩恵を受けながら、豊かな湧水文化を育んできた。

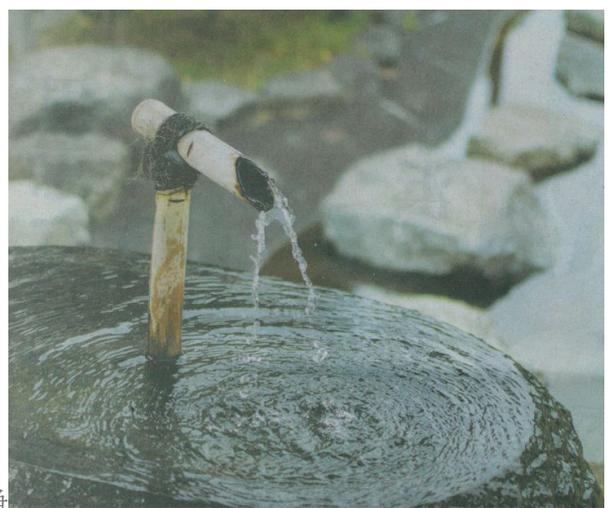
しかし、この豊かな湧水は、その昔から連綿と続いてきたわけではない。過去の一時期に、生活様式の変化などで地下水位が低下し「井戸枯れ」が多発した。このことで人々は、「水は限りある貴重な資源」だということを、強く認識させたという。それから今日でも井戸の水位計測など、さまざまな地下水の保全活動を行っている。

こうした経験から大野の人々は、水の有り難さ、水への感謝を再認識してもらうこと、更にその思いを「水への恩返し」として、カタチにする発想が始まった。その活動は国内の水資源保全にとどまらず、ついに世界へと発信された。

国境を越えてできる社会貢献を考えた結果、昨年日本ユニセフ協会と協定を結び、今年から3年間かけて、東ティモールへの支援を行うこととし、ユニセフ募金をはじめ。資金は、賛同者からの寄付や各種イベント活動での募金活動で募る。この活動は既に昨年からはまり、昨年には約50万円が集まった。東ティモールは、15年前に独立を果たしたアジアで最も若い国で生活インフラの整備がまだまだで、特に農村部では女性や子供が毎日のように、約1時間もかけて水源まで水汲みに出かけている現状である。

この地域を中心に、3年間に6基の給水ポンプとパイプを設置する。既に着手されている2基は9月に通水の予定である。「水への恩返し」を合言葉に、水を通じての世界貢献をスタートさせている。

これは全国の地方自治体では初めての、地域と使用目的を限定した支援で、地域に根差した新しい形の地方創生として全国から注目されている。



(福井新聞を参照して)

これからの行事をご案内致します。

1. 前回発行の会報(8月、第253号)でご案内致しておりますが、東部地区の行事として、富士宮市内に建設中で間もなく完成する予定の「富士山世界遺産センター」が、12月23日に開館披露が盛大に開催されることになっております。

すべて県内産の木材を使って建設されたようで、形も富士山を逆さにしたような見事にデザインされた素晴らしく立派な施設のようです。一度は見学の為に出向き、その外観や屋内に展示されている。さまざまな物品や、富士山に関する資料なども是非拝見したいものです。

そこで、その翌日の24日(日)に見学に行くことに致しました。詳しくは以下の通りですが、午前10時頃に富士宮駅に集まり、新しく開館したセンターをゆっくり見学したあと、浅間大社に参拝も。そのあと昼食を兼ねた懇親会を。当日は浅間大社前の大道りは、歩行者天国でいろいろなイベントが計画されているようですので、それも楽しみながら夕方までを。そのあと早めの夕食を忘年会兼ねた懇親会を予定しています。

当日の企画は、1部を昼の部。2部を夜の部、に分ける。参加者は希望により、1部だけ、2部だけ、1~2部を通して参加、いずれでもよろしいです。

1部から参加の方は、

静岡駅発 8:35分に乗車し、富士駅で乗換えて富士宮駅に 9:48分着

三島駅発 8:36分に乗車し、富士駅で乗換えて富士宮駅に 9:48分着

2部だけ参加の方は、三島駅発 14:28分で西富士宮駅に 15:32分着で。

参加会費は、食事会での実費だけとし、1部昼の部は¥2,000円程度です。

2部の夜の部は¥4,000円程度です。1~2部通しで¥6,000円程度に。

尚、富士宮駅までの電車代は、皆さん自己負担で宜しくお願い致します。

東部地区にお住まいの方は是非参加を、また昼間だけなら参加できる方にも参加して下さいようにお願いします。以上

担当幹事 武長 090-3442-7782

北川 090-5039-5451

吉川 090-9895-2638

 中島屋ホテルズ



中島屋グランドホテル
〒420-0852 静岡市葵区紺屋町 3-10
TEL 054-253-1151(代表)

<http://www.sn-hotels.com>

one-shot Drink & Food
Bar yumoc TEL.054-269-6782

静岡市葵区常磐町1丁目4-5 パレス第二ビル4F
営業時間：19:00~27:00 (L.O.26:30)
定休日：毎週火曜日

静岡 yumoc 検索

2. 平成 30 年 新年会の開催についてのご案内です。

恒例の新年会を、来年 1 月に盛大に開催することに致しております。

来年は戊年・・・来たる 1 年間も、会員の皆さんひとりひとりがお元気で過ごせるように・・・と願いたいものです。

その為には先ず元気よく家の内から外へ、そしてマイペースで歩くこと、運動やスポーツも大切です。それから人と会う、話をする、さらに笑う、その笑顔が何よりの健康のもとで心にエネルギーを差し込むことになるのです。明るく楽しい新年会になるように努めてまいりますので、全会員の皆さん万障繰り合わせのうえ、より多くの方の参加をお願い致します。

今年から新年会の時間を少し長く延ばして、歓談して頂くようにしました。

そして、参加者へのおみやげとして、故郷福井のお米「コシヒカリ」に続く新しいブランド米「いちほまれ」が今年誕生致しました。

このお米をご参加の皆さんに、おみやげとしてご用意させて頂きました。

素晴らしく美味しい日本一のお米と言われています。ご自宅でご賞味ください。

新年会についての詳細は、以下の通りであります。

1. 開催日 平成 30 年 1 月 21 日(日)
2. 時 間 正午 12 時から開催 (約 3 時間)
3. 場 所 中島屋グランドホテル
4. 会 費 男性¥6,000 円、女性¥5,000 円、ご夫婦¥10,000 円
5. 申込み〆切 1 月 10 日までに、各役員までご連絡を



事務局より



平成 29 年度年会費納入のご報告

今年度の年会費につきましては、5 月 28 日発行の会報 248 号に記載したあと 10 月 10 日までに、次の方々に納入をいただきました。この会報掲載をもって領収書に代えさせていただきます。ありがとうございました。

会費納入者（敬称は省略します。）

荒木直二	池田 実	一瀬英憲	上澤房子	上田 憲	大嶋政春
太田 太	大橋 忠	岡崎登喜雄	尾武英信	川上幸雄	川野澄江
窪田直和	窪田靖子	小金山万亀子	島田寿朗	鈴木昭夫	田村昌興
玉木重典	中井弘和	奈良修三	林與志男	深水 實	前田賢一
眞野恵美子	南 弘	茂木光子	森永泰信	矢代謹治	山路喜春
吉田典昭	吉田真也	吉村英晴			